

Nishi-Nippon Financial Holdings

DISCLOSURE

2019年度 中間ディスクロージャー誌
(2019年4月1日～2019年9月30日)



西日本FH

西日本フィナンシャルホールディングス



西日本シティ銀行



長崎銀行

Contents

ごあいさつ	2
西日本フィナンシャルホールディングスについて	3
2020年3月期第2四半期業績ハイライト	5
中期経営計画「飛翔2020～知恵をしぼろう～」	9
中小企業の経営改善及び地域活性化のための取り組み	
ベストミックスのチャネルの実現	10
企業まるごとサポートの進化	13
人生まるごとサポートの進化	19
地域まるごとサポートの展開	21
SDGsへの取り組み	23
西日本シティ銀行提供TV番組の紹介	27
トピックス	28
安心に向けた取り組み	31
業務運営方針	
コーポレート・ガバナンス	32
コンプライアンス（法令等遵守）への取り組み	35
子会社が契約している指定紛争解決機関	36
リスク管理への取り組み	38
会社概要・主要な業務内容・店舗のご案内	
西日本シティ銀行	42
長崎銀行	51
資料編	
西日本フィナンシャルホールディングス	53
西日本シティ銀行	90
長崎銀行	133

●本資料は銀行法第21条及び第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
●計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しています。



西日本フィナンシャルホールディングス 取締役社長（代表取締役）
（西日本シティ銀行 取締役頭取（代表取締役））

谷川 浩道

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「さらなる飛躍に向けた基盤拡大に取り組み、お客さまに選ばれる地域金融グループを目指す『グループ総合金融力の進化』ステージ」をコンセプトとする中期経営計画「飛翔2020～知恵をしぼろう～」の下、さまざまな取組みを進めています。

2019年度上期におけるわが国経済は、高水準の企業収益を背景とした設備投資の増加や、個人消費の底堅い推移などにより、景気は緩やかな回復が続きました。

当社グループの地元九州の経済においても、設備投資が増加し、個人消費が底堅く推移したことなどにより、景気は緩やかな回復基調をたどりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、超低金利環境の継続、ICTの急速な進展、銀行法等改正に伴う規制緩和などにより、大きく変化し続けています。こうした環境の下、私どもは、2019年4月に、人材紹介業へ参入し、2019年10月には、信託業務へ本格参入するなど、お客さまの多様なニーズに応えることのできる態勢づくりに取り組んでいます。一方、“業務フロー”、“デジタル”、“リソース”の3つをテーマとした業務革新を加速させ、より効率的かつ生産性の高い業務運営体制の構築にも取り組んでいます。

これからも、お客さま、地域の皆さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指してまいりますので、皆さまにはどうか、一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年1月